



# 町長の行政報告を お知らせします

八峰町12月議会定例会が16日から18日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

## 八峰町初の地域おこし協力隊 1月中旬から活動開始予定

地域おこし協力隊についてですが、人口減少、高齢化等の進行が著しい本町において、地域外の人材を本町に招致してその定着を図るとともに、地域の活性化等を促進することを主な目的に、「八峰町地域おこし協力隊員」3名を募集していましたが、この度、「移住コンシェルジュ」として1名を採用することとなりました。隊員として内定した方は、千葉県在住の八峰町出身者で、今年度、空き家改修事業で整備する予定の住宅に家族で移住し、来年1月中旬から活動を開始する予定となっております。今後の活躍を大いに期待するところです。

## 秋の行政協力員会議 マイナンバーなどを説明



秋の行政協力員会議を11月27日峰栄館で開催し、各自治会から出された道路改良などの要望44件について、それぞれ町の考え方を示し、意見交換を行ったところ。要望に対する意見交換のほか、町からは町道の冬期間閉鎖箇所やマイナンバーについての説明と町の総合戦略及び人口ビジョンについて説明し理解を深めていただきました。

## 本年度から診療所本院でも実施 季節性インフルエンザ予防接種

季節性インフルエンザの予防接種についてです。

昨年度は埴川分院のみの対応でしたが、本年度は11月から毎週水曜日に午前中は埴川分院、午後からは本院において、それぞれ椿坂医師と三木医師のご協力を得て予防接種を実施しています。インフルエンザワクチンは今シーズンからA型2種類、B型2種類の合計4種類となり接種料金が高くなっているため、補助金を400円増額し1,400円としたところです。11月中の4回の接種日には計195人の方が接種されました。予防対策を十分にしながら健康維持に努めていただきたいと思います。

## ハタハタ漁獲枠は昨年の半分 資源減少で危機的な状況

今期のハタハタ漁について報告します。



ハタハタ漁は、平成7年の解禁以降、順調に回復していましたが、平成25年以降、資源の減少傾向が顕著になり、今期の秋田県の漁獲対象資源量は2,000トン程度と危機的な状態となっております。

この状況を受け、今期の漁獲枠は、昨年の1,680トンから半減の800トンとする厳しい漁獲制限が設けられました。そのうち、北部総括支所管内に割り当てられた沿岸ハタハタ漁の漁獲枠は、102.7トンで昨年の半分以下となっております。

さて、今期のハタハタの初漁は、11月30日と昨年より4日早く、八森漁港、岩館漁港合わせて約3トンと水揚げは少なかつたものの、12月7日には両漁港で10トン、8日には14.1トンと、順調に水揚げを伸ばしています。

魚体は、2歳魚中心の中型ですが、価格は例年より高値で推移しています。

## 12月議会定例会に 提出した主な議案

- 八峰町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町入湯税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について
- 八峰町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例制定について
- 八峰町介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- 能代市山本郡養護老人ホーム組合規約の一部変更について
- 能代市との定住自立圏の形成に関する協定の締結について
- 八峰町沢目財産区管理委員の選任について
- 平成27年度八峰町一般会計補正予算  
1億105万8千円を増額するもの
- 主な追加補正分  
生活バス路線及びマイタウンバス維持費補助金、高性能林業機械導入補助金、漁業経営体経営安定支援事業補助金、峰浜中学校教材備品購入費、林業施設災害復旧事業費、国庫支出金返納金の追加など
- 各特別会計補正予算

## 東京で八峰町の魅力を発信 町イチ村イチは大盛況

9月22日、23日に、東京国際フォーラムで開催された「町イチ村イチ2015」には、全国から323の町村が参加し、特産品販売などにより地域の魅力を発信しています。天候にも恵まれ、2日間の入場者数は5万2千人を数え、初日は入場制限がかかるほどの大盛況ぶりでした。八峰町では、主には「ぽううまし」商品のPRと試食販売を行いました。試食を準備したことと、関東ふるさと会の皆さまの熱心な売り込みにより、八峰町ブースの前には常時人だかりができ、町のPRが充分にできたことはもちろん、商品の殆どを完売することができました。



## 27年産米の作柄概況 「やや良」も収量は昨年より減

また、サテライト会場の有楽町駅前広場で行われた、ステージ発表では、2日間にわたり石川郷土芸能保存会による「駒踊り」と「奴踊り」が披露され、暴れ駒が代名詞の勇壮な駒踊りは、会場を訪れた多くのお客様から、拍手喝采を浴びていました。

27年産米の作柄概況ですが、農林水産省が12月4日に発表した作況指数は、全国が100、東北が103、秋田県は昨年より1ポイント低い103の「やや良」となりました。東北地域も103の「やや良」となり、10アール当たり収量は、昨年より10キロ少ない569キロと確定しました。

今年の出穂期となる8月上旬の気温、日照時間が平年を上回って経過し、9月中旬以降も天候に恵まれ登熟が進みましたが、結果的に、一穂当たりモミ数が平年より少なかったことが昨年より収量が減少した要因となっております。



## スクールバス運行の基準を設定 小中学校統合協議会で了承を得る

小学校及び中学校統合協議会の協議内容について報告します。

11月24日に第11回目の会議を開催し、スクールバスの運行等について協議しました。小学校のスクールバスの運行については、通常4キロメートルを基準とし、冬季間は2キロメートルを基準とすることにしましたが、「道路が狭隘で歩道の設置がない」、「通学路に民家が少なく防犯上問題がある」、「集落内に通学児童が少なく登校班の編成ができない」などの理由がある場合は、幅をもたせた運行とすることで了承を得ています。

中学校のスクールバスの運行については、通常6キロメートルを基準とし、冬季間は3キロメートルを基準とすることにしましたが、現在の八森中学校区は通年運行とし、冬季運行については現行の峰浜中学校の冬季運行を踏襲することに了承を得ました。

校歌については作曲が完成し、実際の曲を試聴していただき、小学校、中学校ともご承認をいただきました。

制服について、前回、女子の夏の制服がまだ決定しておりませんでした。再度アンケート等を実施した結果、ワイシャツとすることを報告し、承認を得ました。

今後は校訓などを提示し統合に向けた準備を進めていきたいと考えています。